

## 2022年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	制度会計特論 A		担当教員	安藤 鋭也		
	英語授業科目名	Institutional Accounting A		単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連			
履修条件	会計学の基礎的知識を有していることが望ましいです。 学部「財務会計論」その他財務会計に係る講義履修後の履修をお勧めします。						
テーマ・副題	制度会計のあり方について。						
授業の教育目的・目標	制度会計の現状を理解し、そのあり方を吟味します。 前期の特論 A では、財務諸表の認識・測定に係る理論と構想を理解します。 後期の特論 B では、近年の会計基準の動向を理解します。						
授業の理解度の到達目標	制度会計が抱える問題点や課題を理解します。その上で自分なりの視点を持つことが目標です。						
授業キーワード	日本基準(含む企業会計原則)、トライアングル体制(会社法、金融商品取引法、法人税法)、IFRS、米国会計基準。						
授業の内容	大学院の授業ですので講義は最低限とします。双方向の議論を通して制度会計の深い理解に努めます。						
授業の方法	受講者が順番に発表する形でテキストを輪読します。						
授業展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の企業会計(1)IFRS の浸透</li> <li>2. 現代の企業会計(2)ROE を梃子とした資本生産性の向上</li> <li>3. 企業会計の本質とフレームワーク(1) 繊細で多様な事業の言語</li> <li>4. 企業会計の本質とフレームワーク(2) 収益費用観と資産負債観</li> <li>5. 会計制度の論理と体系(1) 会計の基礎知識</li> <li>6. 会計制度の論理と体系(2) 会計基準の意義</li> <li>7. 企業のディスクロージャー(1) ディスクロージャー制度の革新</li> <li>8. 企業のディスクロージャー(2) 事業構造改革を映し出す統合報告</li> <li>9. 損益計算書のパラダイム(1) 損益計算書の役割と基本フォーム</li> <li>10. 損益計算書のパラダイム(2) 実現主義の変遷</li> <li>11. 経営パフォーマンスの測定と表示(1) 損益計算書によるパフォーマンス評価</li> <li>12. 経営パフォーマンスの測定と表示(2) キャッシュ・フロー計算書によるパフォーマンス評価</li> <li>13. 貸借対照表のパラダイム(1) 貸借対照表の基本フォーム</li> <li>14. 貸借対照表のパラダイム(2) 資産・負債の評価基準</li> <li>15. 資産の会計(1) 流動資産の会計</li> </ol>						
成績評価方法	授業への取組み姿勢(50%)、発表内容のレベル(50%)で評価します。						
成績評価基準	総合点が 80 点以上を A、79~70 点を B、69~60 点を C、それ以下を D とします。 欠席が 1/3 以上の場合は E となります。						
テキスト	伊藤邦雄(2022)『新・現代会計入門(第5版)』日本経済新聞出版社。						
参考図書	適宜ご紹介します。						
準備学習に必要な時間又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	発表者は、担当箇所を十分理解した上で発表に臨むこと、所要部数のレジメを作成し配布することが必要です。 出席者は、テキストの予習・復習を欠かさないこと、疑問点や問題意識を明確にして出席することが必要です。						
学生へのメッセージ	制度会計や関連する様々な事象に関心を抱くこと、授業に主体的・積極的に参加することを期待します。						
オフィスアワー	水曜 2 時限、木曜 2 時限(メールによる事前のアポイント取り付けが望ましいです)。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線: 5511)	メールアドレス:	<a href="mailto:andou@jobu.ac.jp">andou@jobu.ac.jp</a> <a href="mailto:online-andou@sc.jobu.ac.jp">online-andou@sc.jobu.ac.jp</a>			
人数制限	特に定めません。						